

別記様式第3号 変更後の土地改良事業計画の概要

県営昭和地区土地改良事業(農業用道路)

変更計画概要書

1 計画変更の内容

項目	変更前	変更後	増減
地域	八代市昭和同仁町他	八代市昭和同仁町他	-
地積	111.6ha	68.0ha	△43.6ha
主要工事	農道整備 L=6,093m	農道整備 L=3,545m	△2,548m
工事着手及び完了予定時期	H25年度 ~R2年度	H25年度 ~R9年度	7年
総事業費 (うち事務費)	328,650千円 (15,650千円)	430,528千円 (20,501千円)	101,878千円 (4,851千円)

2 計画変更を必要とする理由

(1) 受益面積の増、又は減が10%以上となる場合

面積の増= —

面積の減= $(\Delta 43.6\text{ha} \div 111.6\text{ha}) \times 100 = \Delta 39.1\% > 10\%$ 該当

(2) 農道の総延長の20%以上に及ぶ増又は減

延長の増= $(10\text{m} \div 6,093\text{m}) \times 100 = 0.2\% < 20\%$ 該当なし

延長の減= $(\Delta 2,548\text{m} \div 6,093\text{m}) \times 100 = \Delta 41.8\% > 20\%$ 該当

(3) 事業費の10%以上の増減

①路線取り下げ(施工取り止め)による事業費の減

・実施設計による精査及び取下げの結果、農道延長が2,548m減となった。

(167,432千円減)

②埋戻し材（購入土）の変更に伴う事業費の増

- ・道路拡幅に伴う排水路の埋立や盛土部について、当初は掘削後の現場発生土を流用する計画としていたが、含水比が高く流用が困難なため、購入土での盛土に変更したことによる増

(14,889 千円増)

③舗装構成の変更による事業費の増

- ・当初計画では、道路拡幅部（路肩及び隣接の水路敷の1.50m）のみを路床置換することとしていたが、地質調査の結果、既設の道路敷も地盤が悪いため、路床置換が必要となり、舗装構成の見直しを行ったことによる増

(34,423 千円増)

④水路横断部におけるボックスカルバート基礎形式の変更

- ・当初、現況地質の内部摩擦角を用いて検討し直設基礎としていたが、実施の地盤調査の結果、暗渠工の支持力が不足したため、基礎処理の追加を行ったことによる増

(22,000 千円増)

⑤付帯工の追加による事業費の増

- ・道路保護及び農地面積の減を防ぐためL型擁壁の設置、既設道との取付舗装、区画線等の付帯工が追加となったことによる増

(27,147 千円増)

上記、①～⑤の事業量及び工法変更に伴う事業費の減

(68,973 千円の減)

$$\begin{aligned} \text{変動率} &= 410,027 \text{ 千円} - (313,000 \text{ 千円} + 142,600 \text{ 千円} + 23,400 \text{ 千円}) \div \\ & 313,000 \text{ 千円} \times 100 \\ & = \Delta 22.0\% > 10.0\% \end{aligned}$$

3 変更後の土地改良事業計画の概要

(1) 事業の目的

本地区は干拓により造成された低平地で、昭和30年代に用排水路等の整備が行われ、湛水被害が少ない水稲とい草を主体とする農業経営が営まれている。

今後の農業経営においては、キャベツやブロッコリーといった園芸作物の拡大を目指すとともに、認定農業者等への農地の利用集積により、経営基盤の強化が必要である。

しかし、地区内の道路は舗装されている路線もあるが幅員が3.0m程度と狭く、車輛同士の離合が困難であるとともに一部では道路が未整備のため、農産物の搬出に支障を来している状況にある。

このため、地区内の道路の拡幅及び新設を行い、農業生産性の向上及び農業経営の安定を図ることを目的とする。

(2) 施行に係る地域の所在、地積及び現況

① 地域の所在 八代市昭和同仁町他

② 地積

(単位：ha)

地目 市町村名	現況					計画				
	田	畑	山林	その他	計	田	畑	山林	その他	計
八代市	68.0 (111.6)	—	—	—	68.0 (111.6)	68.0 (111.1)	—	—	—	68.0 (111.1)

上段：変更後 下段：(変更前)

③ 現況

1) 地形

本地区は、八代平野のほぼ中央に位置し、標高は-0.70m~-0.40m、東西に1/3,000程度の地形勾配である。

2) 水利状況

a. 用水状況

該当なし

b. 排水状況

該当なし

3) 道路状況

本地区内の主要道路は、全体の1/2以上が幅員3.0m程度のアスファルト舗装で整備済みであるが、一部の路線は未舗装で道路幅員も2.5mと狭く、農産物の搬出や生産資材の搬入に支障を来している。

4) 営農状況

地域の営農は、水稻を中心にい草、トマト、露地野菜等を組み合わせた複合経営が行われている。

5) 地域環境の状況

a. 植物

本地区内には、貴重種などは確認されていない。

b. 動物

本地区内には、コイ・ナマズ等の魚類をはじめ、タニシ等が生息している。

c. 景観

本地区は、干拓によって拓かれた静かな農村地帯である。

(3) 基本計画

①要旨

本地区では、狭小な路線については全幅 4.0m程度に拡幅するとともに、道路が未整備な区域では砂利舗装の耕作道路を新設することにより、農産物輸送の合理化や通作の利便性の向上を図る。

②事業別面積

農道整備 A= 68.0ha(変更後) (A=111.6ha 変更前)

③用水量及び排水量

該当なし

(4) 工事計画

農道整備 13 路線 L=3,545m
(21 路線 L=6,093m)

(5) 環境との調和への配慮

八代市の田園環境マスタープランにおいて環境創造区域に位置づけられている大鞆川や水無川及び集落周辺の農道整備にあたっては、騒音・振動等を緩和するため、低騒音・低振動型機械を使用するとともに、工事車両の徐行運転を行う。

(6) 換地計画の要領

該当なし

(7) 費用の概算

項目	金額	備考
主要工事費	346,222 千円 (177,000 千円)	上段: 変更後 下段: (変更前)
測量及び試験費	59,369 千円 (81,000 千円)	
用地及び補償費	4,436 千円 (55,000 千円)	
小計	410,027 千円 (313,000 千円)	
地方事務費	20,501 千円 (15,650 千円)	
総計	430,528 千円 (328,650 千円)	

(8) 事業の効果

区分 \ 項目	年増加見込効果額 (千円)	年増加見込所得額 (千円)
維持管理費節減効果	△1,150 千円 (△785 千円)	△219 千円 (△136 千円)
営農に係る走行経費 節減効果	16,540 千円 (24,777 千円)	9,007 千円 (24,777 千円)
荷傷み防止効果	12,314 千円 (17,216 千円)	12,314 千円 (17,216 千円)
合計	27,704 千円 (41,208 千円)	21,102 千円 (41,857 千円)

上段:変更後 下段:(変更前)

総費用（現在価値化）＝当該事業費による費用＋その他の費用
＝466,849 千円(283,756 千円)＋76,155 千円(42,788 千円)
＝543,004 千円(326,544 千円)

総費用総便益比＝総便益額（現在価値化）／総費用（現在価値化）
＝987,623 千円(873,698 千円)／543,004 千円(326,544 千円)
＝1.81(2.67) 変更後（変更前）

(9) 地区を数区に分けた場合は、その旨及び理由
該当なし

(10) 他事業との関係
該当なし

(11) 計画概要図
別紙参照

